

外部評価改善計画

評価日 平成21年2月24日

グループホームなぎさ

| | 評価 | 項目 | 外部評価 | 改善計画 |
|---|----|-------------------|--|---------------------------------------|
| 1 | 5 | 地域とのつきあい | さらに、利用者が地域の方たちと交流できるような機会を増やしていかれることが期待される。 | 運営推進会議等を通じてさらに、地域の方たちと交流できる機会を増やしていく。 |
| 2 | 14 | 家族等への報告 | さらに、お金の扱いはご家族も気になることでもある。たとえば、病院の受診費用や小口預かり金についても、定期的で細やかな報告がほしい方もあるのではないだろうか。 | 小口現金補充時には、金銭出納内容をよく説明することとする。 |
| 3 | 19 | 職員を育てる取り組み | 職員は、今後「食育の研修を受けてみたい」と話されていた。又、認知症ケアについてさらに学ぶ機会を作る等、職員個々の更なるスキルアップから、貴事業所のケアの質の向上を目指していかれることが期待される。 | 人員を確保し、外部研修へ参加できるようにしていく。 |
| 4 | 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 | ご本人の思いを主体にして、ご家族等、ご本人にかかわる方たちの意見やアイデアを取り入れて、計画を作成していかれてほしい。 | ご家族や友人等の意見も取り入れ、計画を作成していく。 |
| 5 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 | さらに、重度化した時のことや終末期のことは、ご家族も不安や心配なことでもあり、今後も機会を捉えて話し合う機会を作っていくようにしてほしい。 | 早いうちから重度化や終末期のことについて話し合う機会を増やしていく。 |
| 6 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 | 利用者個々のお風呂の好みや習慣等も探り、さらにお風呂を楽しむよう、支援について工夫を重ねてほしい。例えば足浴等も取り入れてみてはどうだろうか。 | これまでも足浴等を取り入れているが、更に入浴を楽しむ工夫をしていく。 |
| 7 | 61 | 日常的な外出支援 | 現在、利用者の身体機能の低下に伴い、外出することに難しさもあるようだが、ご家族等の協力をいただきながら、ご本人の行きたい場所等も探り、出かけてみるような機会を作ってはどうだろうか。 | 人員の関係もあって最近外出が少ないが、体制を作り外出の機会を増やしていく。 |

外部評価改善計画

評価日 平成21年2月24日

グループホームなぎさ

| | 評価 | 項目 | 外部評価 | 改善計画 |
|---|-----|-------------|---|--|
| 8 | 6.6 | 鍵をかけないケアの実践 | 自由な暮らしを提供することがグループホームの特徴でもあり、利用者の安全と自由について話し合い、玄関等に施錠せずにすむ方策を検討されてほしい。 | 利用者が落ち着いて、安心して生活できる環境作りをして、鍵をかけない方策を作っていく。 |
| 9 | 7.1 | 災害対策 | さらに、事業所では、避難訓練の際には地域の方の参加を増やしていきたいと考えておられた。今後も利用者、職員の安全と安心のための取り組みを重ねていかれることが期待される。 | 運営推進会議等を通じてさらに地域の応援体制を整えていく。 |